

神戸市長田区「菅原通」に行く

先日、神戸市東灘区岡本の甲南大学で日本地方財政学会があった。久しぶりに神戸に行くので、朝早く JR 神戸線の兵庫駅まで行った。自宅から JR まで近いので便利だ。兵庫駅から長田区菅原通に向かう。ここは阪神・淡路大震災のあと、何回か「定点観測」してきた地域の一つである。

まず「みくら すいせん公園」に行った。公園周辺の風景はかなり変わっていたが、井戸のポンプには見覚えがあった。震災から 20 数年が過ぎ、まちの変貌ぶりに心を寄せる。公園近くに、「味彩館」という市場があったはずだが、すこし探してみたが、残念ながら見当たらなかった。



「味彩館」は震災で全焼した「菅原市場」跡に建てられたスーパーで、店舗入口に「寅さんの記念碑」があった。久しぶりに、この記念碑を見たかったのだが。震災の年の 10 月、菅原通りで行なわれた「寅さん」最後の撮影は、被災した人々に生きる勇気をあたえ、この地は復興のシンボルと言われた。



「味彩館」のことが気になり、ネットで調べたら事情が分かってきた。神戸新聞 NEXT(2017/1/13)から

— 阪神・淡路大震災の火災で焼失し、共同スーパーとして再スタートした神戸市長田区菅原通 4 の「味彩館（あじさいかん）Sugawara」（旧菅原市場）が閉店した。再建から 16 年。大型店の進出による競争激化に加え、店主の高齢化や後継者不足でスーパー継続を断念した。……味彩館の前身、菅原市場は 1920(大正 9)年創業。阪神・淡路大震災で営業していた 37 店舗が全焼した。仮設店舗で 22 店が営業を再開し、復興のシンボルとして映画「男はつらいよ」のロケ地ともなった。店主の高齢化などで営業店舗が減る中、5 店舗が 2000 年 11 月、共同スーパー（2 階建て、売り場面積 390 平方メートル）として再建を果たした。建物前にはロケ地の記念碑が残っている。

このあたりに 2008 年 3 月に卒業生と調査に来たことがある。下の写真はそのとき撮ったものだ。保存してあった写真から見つけることができた。味彩館の看板や「寅さん」記念碑が映っている。10 年という時の流れを感じさせる写真である。



(2018 年 6 月 6 日)